

生活科 小学校 第1学年及び第2学年

教科	評価の観点		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活	<p>○ 児童が生活の中で、豊かな体験を通じて、感じたこと、気付いたこと、分かったこと、できるようになったことを評価する観点です。自分の成長やよさに気付いている。</p> <p>○ 発言やつぶやき、態度やる舞いなどの行動観察、カードでの文章表記ができています。</p> <p>○ 具体的な対象と関わり、体験したり他者と関わったり、情報を収集したり学習を振りかえったり、気付いたことや考えたことを表現したりする基礎的な技能を身に付けている。(対象のもつ意味や価値、不思議さや魅力等に気付いたり、それらを感じ取ったりしている。)</p>	<p>○ 児童が思いや願いを実現する過程において、対象と自分との関わりを通して感じたこと、気付いたこと、分かったこと、できるようになったことを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりしている。</p> <p>○ 児童が身近な人々、社会及び自然などの対象を自分とどのような関係があるかを意識しながら、対象のもつ価値を見いだしている。</p> <p>○ 見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの学習活動、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法を使おうとしている。</p>	<p>○ 児童がどのような心情、意欲、態度などを身に付け、よりよい生活を営もうとしている。</p> <p>○ 児童自らの思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしている。</p>